パッケージ名称	物理学
概要	1965年にノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士は，物理学について「自然界に起こる現象の奥に潜む法則を観察事実に照らして探求するもの」と述べています。朝永博士の受賞から50年以上が経ち，自然界には存在しなかった新元素や新素材をも含む文字通り「すべてのもの」が，いまでは物理学の探求対象となっています。様々な分野の基礎となる物理学を学ぶことで，自然現象から社会現象まで深く緻密に観察し，理解する能力を身に付けることができます。 そして，数学を用いて精密に体系化された物理学を系統的に学ぶことで，論理的な思考能力と能動的な問題解決能力の修得に繋がります。
履修資格	
履修定員	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること ・所定の授業科目について12単位以上を修得 ・主専攻プログラムが決定していること ・主専攻プログラムが物理学プログラムと異なること
その他特記事項	補足資料の「パッケージ型マイナー：物理学パッケージ履修モデル」を確認すること

区分	開講番号	開設科目名	単位数	開講学期	曜限	授業形態	対象学年	定員	備考
	232G6011	物理学への招待Ａ	2	第2ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	120	
	230G6521	物理学への招待Ｂ	2	第3,4ターム	月4	講義	1,2,3,4,5,6	120	
	231G5016	物理学基礎 BI	2	第1ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	231G5017	物理学基礎 BI	2	第1ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	231G5014	物理学基礎 BI	2	第1ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	150	
	234G5512	物理学基礎 BII	2	第4ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	160	
	234G5515	物理学基礎 BII	2	第4ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4,5,6	160	
	230G5518	物理学概論	2	第3,4ターム	水1	講義	1,2,3,4,5,6	180	
	233S0559	基礎物理数学	2	第3ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4	70	1,2
	234S0560	基礎ベクトル解析	2	第4ターム	火2,金2	講義	1,2,3,4	70	1,2
	230S0558	解析力学	2	第1,2ターム	火4	講義	2,3,4	70	1,2
	231S2507	電磁気学IA	1	第1ターム	月4	講義	2,3,4	70	1,2
	232S2508	電磁気学IB	1	第2ターム	月4	講義	2,3,4	70	1,2
	233S2509	電磁気学IIA	1	第3ターム	月5	講義	2,3,4	70	1,2
	234S2510	電磁気学IIB	1	第4ターム	月5	講義	2,3,4	70	1,2
	233S2520	熱力学A	1	第3ターム	木1	講義	2,3,4	70	1,2
	234S2521	熱力学B	1	第4ターム	木1	講義	2,3,4	70	1,2
	233S2515	量子力学序論A	1	第3ターム	月4	講義	2,3,4	70	1,2
	234S2516	量子力学序論B	1	第4ターム	月4	講義	2,3,4	70	1,2
	231S2530	特殊相対論A	1	第1ターム	水1	講義	3,4	70	1,2
	232S2531	特殊相対論B	1	第2ターム	水1	講義	3,4	70	1,2

※1　対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。　※2　定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考　１）理学部・創生学部の学生を優先的に聴講許可します

２）オナーズ型マイナー履修者の聴講許可を優先することがあります

パッケージ型マイナー：物理学パッケージ履修モデル（必要単位数：12単位）

■ 履修計画上の注意点：

物理学は「積み上げ式」の学問であり，各科目をきちんと理解するには履修する順番が重要となります。
次の注意事項および各科目シラバスの「登録のための条件 (注意)」を確認の上，履修計画を立ててください。
また，下記にある履修モデルも参考にしてください。

・科目名と履修順序：科目名に I, II, A, B を含むものは「I → II」及び「A → B」の順に受講すること
(但し，「物理学への招待」は除く。)
・解析力学：「物理学基礎 BI, BII」の履修後に受講すること
・電磁気学：「基礎物理数学」や「基礎ベクトル解析」が履修済であることが望ましい
・熱力学：「物理学基礎 BI, BII」が履修済であること，微積分の基礎数学が習得されていることが望ましい
・量子力学序論：「物理学基礎 BI, BII」や「解析力学」が履修済であることが望ましい
・特殊相対論：「物理学基礎 BI, BII」や「電磁気学」が履修済であることが望ましい
（但し，特殊相対論は，市民向けに開放される授業科目でもあり入門的な内容となっています。）

■ 参考情報：

物理学プログラムでは，1年次(物理学基礎・基礎物理数学・基礎ベクトル解析)，2年次(解析力学・電磁気学・熱力学・量子力学序論)，3年次(量子力学・統計力学)という流れで主要な科目群の履修が進められています。

履修モデル①（基礎・入門：力学 ~ 相対論 12単位）

	1年目	2年目	3年目	4年目
第1ターム		物理学基礎 BI (2)	特殊相対論 A (1)	
第2ターム		物理学への招待A (2)	特殊相対論 B (1)	
第3ターム	基礎物理数学 (2)			
第4ターム	物理学への招待 B (2)	物理学基礎 BII (2)		

履修モデル②（力学 ~ 電磁気学 ~ 相対論 12単位）

	1年目	2年目	3年目	4年目
第1ターム	物理学基礎 BI (2)	電磁気学 IA (1)	特殊相対論 A (1)	
第2ターム		電磁気学 IB (1)	特殊相対論 B (1)	
第3ターム	基礎物理数学 (2)			
第4ターム	基礎ベクトル解析 (2) 物理学への招待 B (2)			

履修モデル③（力学 ~ 量子力学序論 12単位）

	1年目	2年目	3年目	4年目
第1ターム		物理学基礎 BI (2)	解析力学 (2)	
第2ターム				
第3ターム	基礎物理数学 (2)		量子力学序論 A (1)	
第4ターム	物理学への招待 B (2)	物理学基礎 BII (2)	量子力学序論 B (1)	